

千葉県中核地域生活支援センターニュースレター

# ちばの地域福祉

障害者と家族のニーズに応えながら、地域に根を張る法人を目指して

特定非営利活動法人 自立サポートネット流山  
理事長 勝本 正實

## \* 設立10周年目を迎えて

私たちの法人は、身体・知的・精神・発達障害者の家族や支援者を中心に生まれた法人です。最初から全ての障害者支援を目指してきました。障害者や家族が必要とする場を作るため、住まい、仕事、相談、生きがいの全てを整える事を「事業化」してきました。そのためには、行政との連携、他の法人や団体との協力を念頭に置いて活動してきました。あつという間の10年でしたが、目指すべき事はまだ多くあります。

## \* 何をする事が出来たか

障害者や家族、そして行政から期待されて生み出した働きは、住まいとして、グループ・ケアホームを20か所つくりました。働く場として、地域活動支援センターを2か所設置しました。相談や生活訓練として、地域生活支援センターすみれを開設しました。生きがいの場を目指して、スマイルを開設しているところです。この他に、障害者支援の居宅介護事業や流山市からの委託事業もしています。そしてこの春からは、指定管理者として福祉会館とそこに併設されている身体障害者福祉センターの運営を受託しています。これらによって、四障害者の利用者は、概ね500名近くになるでしょう。

## \* 何を目指しているのか

障害者になる事は、本人の願いでも家族の願いでもありません。しかし、誰かが障害者となります。このために本人も家族も困難を背負います。私たちは、その方たちをサポートし、地域の市民の方に障害への理解と支援をしてほしいと呼び掛けるのが役割です。必要とされる場や環境を自ら作り出します。それを行政や他の法人・団体との協力の中で生み出します。

このために流山市には、すでに障害者団体連絡協議会があり、障害者のために働く事業所の連絡協議会があります。私たちは、自分たちだけで必要を満たせるとは考えていませんので、他の法人や他市との協力関係を作り上げていく事が必要と考えます。そしてこれから、力を入れるべき事は、発達障害者の方への環境整備です。まだ何も無いのが実情だからです。

# ちば・元気印！～こんなひと、見つけた～

## 「コスモスの花」理事長 青山春美氏

コスモスの花は、障害やつまずきのあるお子さんと、その親御さんへの支援を中心に事業を展開しています。

### ★コスモスの花を始めるきっかけは…

最初は、今でいう特別支援学校・学級で担任をしていました。次に旧千葉県特殊教育センターで情緒障害研究部研究指導主事に就きました。その後、県内のいくつかの保健センターで心理相談員・育児講座講師をしていました。また、県内の様々な地域で親御さんの悩みを聞いたり、お母さん同士の仲間づくりのお手伝いをしていました。

それらの活動から見えてきたことは、親御さんが子育てを“楽しい”と思えることが子どもの育ちにも大切であるということです。乳幼児期だけではなく、学校に入ってから子どもと親は様々な悩みを抱えています。また、月1、2回の活動では、その時に行けないとなると間が空いてしまい、継続的に関わるのが難しくなってしまいます。拠点を持って子どもと親への支援をしていく必要があると思い、コスモスの花の活動を始めました。

### ★コスモスの花の活動を行っているうえで大切にしていること…

お子さんも親御さんも、感性豊かなしっかりとした心を持って育ててもらうことを大切にしています。

普段、お子さんの面倒を見ているのはお母さんということが多いです。お父さんにも積極的に子育てに関わってもらえるように、コスモスの花では土・日曜日にも親子で参加できるプログラムを開催しています。また、お子さんが幼稚園や保育園、学校を休まずにコスモスの花に来てもらえるように、そして、お休みの日に外出する機会をもってもらえるように土・日曜日の開催を大切にしています。

また、コスモスの花が親御さんたちにとって、安心して泣ける場所でありたいと思っています。親御さんが「辛い」と言えば、すぐに話を聴かせてもらいます。何かあれば、すぐ対応するように心がけています。制度等を知っていることよりも、相手に寄り添うことを一番大切にしています。お子さんと親御さんの成長をスタッフ全員で支えていきたいです。

### ★今後の活動の展望…

コスモスの花「10周年」に向けて、一年一年を大切に頑張っていきたいです。また、コスモスの花でも習字や絵画等の教室を開催していますが、障害を持っている方の芸術活動を応援していきたいです。あとは、今よりももっと図書室活動をやっていきたいと思っています。私自身も本が好きで、本は人の感性を豊かにします。色々な方と関わるなかで、相手の方の状況や気持ちに合わせた本をお勧めすることがあります。今後も、たくさんの方に必要な本をお届けできたらと思っています。



事業所名 ■ 特定非営利活動法人 コスモスの花

所在地 ■ 〒289-0407 千葉県香取市仁良 1194-7

事業内容 ■ 児童デイサービス事業

千葉県障害児（者）相談支援事業

コスモスの森里山活動協定事業

啓発・普及事業

T E L ■ 0478-70-7373 F A X ■ 0478-70-7372

Eメール ■ kosumosu-hana@hyper.ocn.ne.jp

H P ■ <http://www.cosmosnohana.org>



## ちば・地域発 ～県内ア・ラ・カルト～

【千葉県】中核地域生活支援センターシンポジウム 2011

～無縁社会からの脱却 地域の再構築～

- 〔内容〕 ■基調報告 「孤立した人への支援と地域づくりの実際 ～中核地域生活支援センターの活動から」  
■基調講演 「なぜ新たなセーフティネットが求められているのか」  
講師 湯浅 誠氏（NPO 法人 自立生活サポートセンターもやい）  
■シンポジウム「地域でセーフティネットを構築するために」  
コーディネーター 野沢 和弘氏（毎日新聞社 論説委員）  
コメンテーター 湯浅 誠氏（NPO 法人 自立生活サポートセンターもやい）  
シンポジスト 日置 真世氏（パーソナルサポートサービス検討委員〈釧路〉）  
田辺 寿氏（社会福祉法人伊賀市社会福祉協議会 地域福祉部権利擁護課 課長）  
池口 紀夫氏（中核地域生活支援センター夷隅ひなた 所長）

〔日時〕平成23年7月10日（日） 13時30分～16時30分

〔会場〕千葉市蘇我勤労市民プラザ 多目的ホール

〔資料代〕500円 〔定員〕300名（先着順） 〔申込締切〕平成23年6月30日（木）

〔申込み・問い合わせ先〕香取ネットワーク 〒287-0002 千葉県香取市北1-11-18

電話 0478-50-2800 FAX 0478-50-2881 Eメール katorinet@npokatori.jp

【千葉県】企業と地域の力をひとつに「企業・NPOによるパートナーシップ事業」平成22年度事業成果報告会

〔内容〕 ■基調講演「パートナーシップで拓く 地域の可能性」

講師 松原 朋子氏（日本マイクロソフト株式会社 社長室 企業市民活動推進部 部長代理）

■事例紹介・事例発表

- ①障害者施設の雇用改善事業
- ②森林整備・植樹祭&コカ・コーラ「森に学ぼう」プロジェクト
- ③若年層・留学生に対する金融・福祉・犯罪防止教育の実施

■平成23年度事業説明 ■情報交換・応募相談

〔日時〕平成23年6月10日（金）13時30分～17時

〔会場〕千葉市ビジネス支援センター（きぼーる）13階 会議室2・3 〔定員〕60名（先着順）

〔申込み〕下記の内容をメール、FAXのいずれかの方法で、下記申込み先に連絡

1. 件名（「企業・NPOによるパートナーシップ事業」成果報告会 申込み）
2. 会社・所属団体名、業種、部署
3. 職・氏名
4. 電話
5. Eメール
6. 企業またはNPOとの関わりの有無 なし/あり（ありの場合は内容もご記入ください）

〔問い合わせ先〕千葉県環境生活部県民交流・文化課 〒260-8667 千葉市中央区市場町1-1

電話 043-223-4165 FAX 043-221-5858 Eメール npo-zigyoku@mz.pref.chiba.lg.jp

## すけっと（印旛圏域）

所長 城所 文恭

「すけっと」は千葉北西部、印旛圏域の9市町（印西市、佐倉市、白井市、富里市、成田市、八街市、四街道市、栄町、酒々井町）を担当しています。事務所はJR佐倉と京成佐倉の間くらいに位置し、保健所を目印に来ていただければその真裏にあるのでわかりやすいと思います。印旛圏域の特色としては、東京などへの通勤圏の機能を持った住宅と商業地域、昔ながらののどかな風景の地域と混在していることと、成田空港を抱えていることなどです。

すけっとの活動の基本として、いろいろな問題を抱え暮らしている方々と、一緒に問題解決に結びつけることができるか考えながら対応しております。また、相談を受けた時すぐサービスに結びつけて終わりではなく、取り巻く環境や家族など生活する上で何が暮らしにくさの原因かが分かるまで、まず時間を使いたいと思っております。また、映画のセリフのようで恐縮ですが問題は現場でしかわからないと思っておりますので、できるだけ早い時期に訪問するよう心がけています。

印旛圏域の課題でもありますが、担当する地域の広さと市町の数、人口の多さなどにより地域差が出ないようにとは思っていますが、難しい問題と感じています。最近の相談傾向として、どうしても経済的な問題が絡んできます。また、問題が複雑に絡みついてなかなかほどこけない等、一つの事業所ではなかなか解決できにくくなってきています。そのためにも、市町村をはじめとしてみんなの力で協力して支援に当たりたいと心がけていきます。



いんば中核地域生活支援センターすけっと

〒285-0026

佐倉市鏑木仲田町9-3

TEL : 043-483-3718

FAX : 043-483-3719

E-mail : [3718suketto@rc-aikoh.or.jp](mailto:3718suketto@rc-aikoh.or.jp)

HP: <http://www.rc-aikoh.or.jp/>

発行元：千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

事務局：香取ネットワーク（香取圏域）香取市北1-11-18 TEL:0478-50-2800 FAX:0478-50-2881

編集：海匝ネットワーク（海匝圏域）旭市イの1775 TEL:0479-60-2578 FAX:0479-60-2579

※内容についてのお問い合わせは、海匝ネットワーク（担当：丸山）までお願いします。